

キッピッピ

三田市立図書館

2022年

10月

あたらしい本がはいったよ

あなたに あいたい

宮野 聰子／作

教育画劇 2022年7月 Eミヤ

ある日、うさぎさんは、森のおかの上にある小さなきゅうけいじょのでんごんばんに、「あいたい」という文字を見つけました。こりすとくまくんと、「だれに、あいたいのかなあ？」と話していると、いろんなどうぶつがあまやどりにやってきました。どうぶつたちには、それぞれ「あいたい」だれかがいて…。



10ぴき ねこちゃん

エミリー・グラヴェット／作

小学館 2022年7月 Eグラ



ねこちゃんが10ぴきいるよ。しろねこが1ぴき。くろねこが2ぴき。とらねこは3ぴき。みけねこ・ぶちねこは、なんぴきいるかな？あれ？！ねこちゃんがあかいペンキをたおしたよ。あかペンキペたぺたねこちゃんは、なんぴきかな？かわいいねこちゃんをさがしながら、かずをかぞえてみましょう！

(10)

児童室 10月展示

★各館で展示しています

《本館》 どうぶつだいすき

おお
ちっちゃんねずみから大きなゾウまで、どうぶつたちがかつやくするお話をあつめました。あなたのすきなどうぶつに会える絵本はあるかな？



うしとざん

高畠 那生／作

小学館 2020年12月 Eタカラ

うしにのぼること、それが「うしとざん」です。のぼりやすそ
うなうしをえらんだら、さあしゅっぱつ！のぼってのぼって、
たどりついたさき（うしのせなか）で見たものとは…？

《ウッディタウン分館》 続きが読みたい

シリーズ本を集めます。

ハートウッドホテル ねずみのモナと秘密のドア

ケイリー・ジョージ／作 久保 陽子／訳

高橋 和枝／絵 童心社 2018年10月 Gジョ

おんな
ネズミの女の子、モナのたくましさに勇気をもらえるおはなし
です。シリーズは4巻まで。それぞれの季節のホテルの様子もお
たの
楽しみに。



《藍分室》 ワクワクハロウィン

10月31日はハロウィンの日ですね。図書館でもハロウィンやまほうの本、そしてパー
ティーの本をあつめておまちしています。



まほうのハッピーハロウィン

石津 ちひろ／文 岡田 千晶／絵

ブロンズ新社 2020年8月 Eオカ

こどもかいのハロウィンのおまつりのひ。はじめて参加するあ
きとは、しんぱいでドキドキしています。おむかいにすみの
りは、そんなあきとのために…。読んだあとに心があたたかく
なる、そんなおはなしです。



ほん

みつけたよ！こんな本



やま

くもとり山の イノシシびょういん 7つのおはなし

かこ さとし／文 かこ さとし・なかじま かめい／絵

福音館書店 2021年1月 Nカコ



くもとり山のふもとに小さな病院がありました。院長先生は、からだが大きくてモジヤモジヤかみの毛のイノシシ先生。ある日、たぬきの母さんと子どものポンちゃんが、おなかがいたいとやってきました。イノシシ先生はおなかをゆっくりさすって…。「ポンちゃんのポンポン」など、7つのお話を楽しめます。

もしも宇宙を旅したら もしも宇宙でくらせたら 惑星MAPS～太陽系図繪～

宇宙兄さんズ／著者 イケウチ リリー／絵

誠文堂新光社 2018年6月 44/18



宇宙人はいるのかな？宇宙はどうなっているのかな？不思議に思ったことはありませんか？太陽系の惑星や星がどんな世界なのかを、わかりやすいイラストや写真で紹介しています。宇宙の冒険にでかけましょう。

図書館員のお気に入り♪ 「しょうぼうじどうしゃ じぶた」

渡辺 茂男／作 山本 忠敬／絵

福音館書店 1966年6月 Eヤマ



しょうぼうしょのすみっこに、古いジープを改良したちびっこ。しょうぼうしゃのじぶたがいました。じぶたはいつも、体の大好きななかまたちがかづやくするのをうらやましく思っていました。ところがある日、ちびっこあつかいされていたじぶたが大かつやく！小さくたってだいじょうぶ。元氣ができるのりものえほんです。

今月の紙しばい

ぼくは きゅうじょ犬！

井上 こみち／作 藤本 四郎／絵
教育画劇 2017年5月 Kボ



しんまいのきゅうじょ犬レックは、今日もお姉さんとくんれんをしています。ある日、しゅつどうの電話が入って、ゆくえふめいのおばあさんをさがすことになりました。レックが大かつやくするお話で、きゅうじょ犬のお仕事もることができます。

なるほど！

いきものまめちしき



さされるとかゆいヤブカ。1秒間に500回以上という速さで羽ばたいて、空中を飛びまわっています。

今月は
ヤブカ
だよ！

力は目があまりよくないといわれていますが、10メートルもはなれた場所からでも人に気づいて飛んできます。



ヤブカの食べ物は、人や動物の血だけではありません。花や樹液などもすって栄養をとっているんですよ。血をすうのは、メスだけです。自分が生きるためにではなく、卵を育てるために血が必要なのだそうです。



参考文献 「科学のアルバム・かがやくいのち 18 カ ヤブカの一生」
高嶋 清明／著者 あかね書房 2014年3月 486/14